

- 高齢者総合ケアセンター星の里 (久保町)
TEL (0848) 377272
- ワークスさつき (美ノ郷町)
TEL (0848) 485900
- むかいしま作業所 (向島町)
TEL (0848) 446460
- 尾道福祉専門学校 (久保町)
TEL (0848) 372222
- 尾道さつき作業所 (久山田町)
TEL (0848) 238004
- 尾道サンホーム (木ノ庄町)
TEL (0848) 484070
- すだちの家 (御調町)
TEL (0848) 771122
- 尾道市障害者サポートセンターはな・はな (門田町)
TEL (0848) 295002

理事長就任にあたって

昨年10月1日付で理事長に就任した藤原壽雄でございます。

尾道さつき会が設立されたのが1982年ですから、今から約30年前になります。その間、福祉を取り巻く社会状況も大きく変化してまいりました。日本の人口は近年横ばいであり、人口減少局面を迎えております。2060年には総人口が9000万人を割り込み、高齢化率は、40%近い水準になると推計されております。2012年にはすでに高齢化率23%という超高齢化社会になっております。この伸び方が、7%から14%になるのが高齢化のスピードを表す指標といわれております。この期間がフランスは115年かかっています。スウェーデン85年、イギリス47年、ドイツ40年、それが日本は24年と世界に類を見ない超スピードで高齢化先進国になっております。2025年には団塊の世代が後期高齢者入りを致します。



藤原壽雄 理事長

高い公益性と透明性のある運営に力

1970年頃は65歳以上の1人を現役世代9.1人で支える「みこし」型社会でしたが、現在は3人で1人を支える「騎馬戦」型になり、2060年代には1人で1人を支える「肩車」型になることは必定であります。

従って、社会福祉関係の政策変更・法律の改正も後追い状態になっているのが実態であります。社会福祉法人としても中期的経営方針は策定できても、長期的展望に立った経営計画は立案し難い状況です。

先日厚生労働省主催による社会福祉法人の在り方についての検討会が開催されました。その席上で「高い公益性」と運営の「透明性」の2点が強調されました。この2点については、当会としてどこにも負けないという自負をもって運営に当たっております。

尾道さつき会としては、今後とも地域社会のご期待に応えるべく、精進を続ける覚悟でございますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げ、理事長就任に当たってのあいさつとさせていただきます。

平成25年度尾道ブロック研修会 研究発表で県大会へ

星の里・今津野の家 谷 頼証

11月8日に三原国際ホテルで尾道ブロックに所属する特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、ケアハウス、居宅サービス事業の施設長及び職員118人が一堂に会し、直面する課題等について研究発表及び意見交換を行いました。

研究発表は①介護・看護部会②居宅サービス部会③養護・ケアハウス・栄養部会の合計15事業所が行い、各部会の中から1つの事業所が選ばれ県大会へ進む仕組み。当事業所は居宅サービス部会にて「認知症ケアによる地域包括ケアの推進について」の研究発表をいたしました。

発表内容は、職員研修や広報活動を重ね、関係者と協働で認知症の方が安心して過ごせる環境作りを進め、地域の方から一定の評価を得ることができたこと。更に、みづぎ地域包括ケアの一翼を担う事業所へ成長できるよう努力しているといったものでした。地域包括ケアシステムとは、介護、医療、予防、住まい、生活支援の5つの連携による地域住民へのサポートシステムであり、認知症高齢者施策と同様に、これからの国の介護保険事業計画において重要な考え方の一つです。



▲ロビーは家庭的な雰囲気 (今津野の家)

音楽活動で交流

尾道パイロットクラブが企画

尾道さつき作業所 高橋 彩乃

尾道さつき作業所では、昨年の4月から尾道パイロットクラブの方が来所し、毎月、音楽活動を通して交流しています。

パイロットクラブの方は、生花教室のボランティアとして長年関わってくださっています。ある日、「他にも何かお役に立てることがあれば」というお話をいただき、音楽活動が始まりました。



▲踊りの動きに大爆笑

内容は、パイロットクラブの方が中心に企画されます。曲に合わせて楽器を鳴らしたり、身体を動かしたりするだけでなく、フラップパルーンや紙芝居を使用するなど、さまざまな工夫が凝らされています。

利用者さんの感想は「踊るのが好き」「大きい声で歌えるのが楽しい」、パイロットクラブの方も、「みんなに会えることがとても楽しい。これからも笑顔がみられるプログラムを考えていきたい」と言われています。

地域の応援団の力をお借りしながら、これからも楽しい交流を続けていきます。

寄付者一覧

(二〇一三年八月・二〇一三年十一月・順不同、敬称略)

〔寄付金〕 柏木幸子、岩国東地区民生児童委員(協)、廣谷毅、芦田孝子、鼻孝子、池田敏子、山根智恵子、水戸川賢造、府中地区労働者福祉協議会、永正寺、岡田眞智子、梶山小児科医院、第21回久保中学校同窓会一同、半田商店

〔寄付物品〕 田邊裕美、岩本光平、須田稔、株式会社まるじょう、イトク食品株式会社

編集後記

ほおの赤いクマや梨の妖精をテレビでよく見ます。ゆるキャラブームの中、ダルマのようなネコの「にやをり」が誕生しました。尾道の人を中心に観光客にも愛されるキャラクターになってもいいもの。「にやをり」が着ぐるみ化される日が楽しみです。(T.O)

おうと急な嘔吐や下痢はノロウイルスかも!?

ノロウイルスに感染した吐物や便は、少量でも感染力が強いです。マスクとビニール手袋をつけて拭き取ってください。

ペットボトル500mlにキャップ2杯の家庭用塩素系漂白剤を入れ水で希釈し消毒します。

ヘルパーステーション星の里では、高齢者に向けた介護保険サービスの訪問介護と、障害者に向けた障害者福祉サービスのホームヘルプの2種類の仕事をしています。仕事内容は、入浴や排泄、食事介助などの介護、掃除や買い物、調理などの家事、通院や外出の付き添いなど幅広く行っています。

<利用者さんに合わせたサービス>
利用者さんの自宅を訪問し、1対1でコミュニケーションを図りながら、生活スタイルや意向を大切にサービスを行います。食事では味の好みや体調に合わせた食事を提供し、掃除ではその家のやり方を聞きながら行っています。



▲「暖かくしておきましょうね」

利用者さんの生活スタイルに合わせ支援

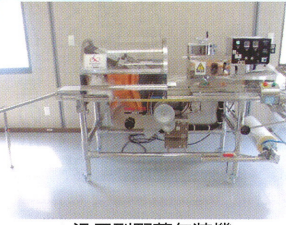
<在宅生活を続けていくために>
在宅の高齢者は、季節や気候の変動によって体調が変わりやすいため、体調管理がとても重要です。体調不良などがあれば、すぐに適切な対応を行います。また、一人暮らしの方が多く、地域の方との関わりが少ない方もいるため、ヘルパーとの関わりが1日の楽しみになるように笑顔で関わることを心掛けています。利用者さんとの関わりの中で、私たちが学ぶことも多くあります。様々な人生経験をされてきた方の話を聞くのは、とても楽しみです。今後もヘルパーとして利用者さんに喜んでいただけるようなサービスを提供していき、地域との交流を保ちながら、住み慣れた自宅で、できる限り長く安心して生活を続けていけるよう支援をしていきます。



▲キレイにしてくれてありがとう

公益財団法人JKAの補助事業が完了

このたび、公益財団法人JKAから、平成25年度競輪補助金の交付を受け、下記の事業を完了致しました。
ここに事業完了の報告を申し上げますと共に、公益財団法人JKAをはじめ、ご協力賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。



▲汎用型野菜包装機

記
事業名：平成25年度 福祉機器の整備
事業内容：汎用型野菜包装機 一式
事業費総額：2,920,000円
補助金額：2,190,000円
施設名称：障害福祉サービス事業所 すだちの家
施設所在地：広島県尾道市御調町植野528-3
完了年月日：平成25年9月13日

地域包括ケアシステムの構築に向けて

老人介護支援センター星の里 桃谷 京
今年度、県から「地域包括ケア推進補助金事業」の指定を受け、医療と介護、保健、福祉の連携を強化するため、星の里がシステム構築のための調整役を担っています。

第1回目の活動として、11月14日に星の里で、尾道市中央地区の介護サービス事業所、居宅介護支援事業所、民生委員、行政機関等の代表者が一同に会し情報交換を行いました。

今後、認知症高齢者の地域支援システム構築に向け、地域の医療機関との連携強化や、地域包括ケアに関する講演会を企画し、中央地区で必要とされるサービスを提供できるように取り組んでいきます。

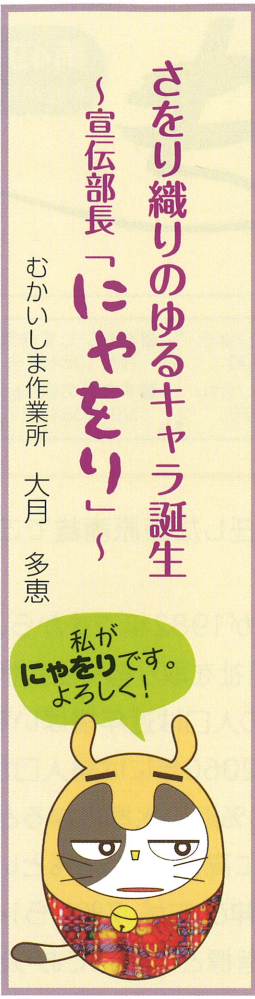


▲第1回推進協議会の様子



▲ええもんやの店頭で、目を引く「にやをり」

尾道の猫とさをりのキャラクターイメージにぴったりの「にやをり」と命名しました。
このにやをりを商品の包装に生かし、12月から「尾道ええもんや」の各店舗で販売を開始しました。新たにがま口財布やショートストラップなどの製品も加わり、にやをりグッズが店頭をにぎわしています。
この度のキャラクター作成にあたっては、多くの方々にご協力をいただきました。今後とも、手織り屋おのみちの「にやをり」をよろしく願っています。



むかいしま作業所 大月 多恵

さをり織りのゆるキャラ誕生
～宣伝部長「にやをり」～

むかいしま作業所では、8年前からさをり織りに取り組んでいます。一部は商品化し、これまで「アトリエがくけ」というブランド名で、保護者や関係者を中心に販売してきました。
しかし、この尾道で、もっと多くの方に親しみや関心を持っていただけるように、ブランド名を「手織り屋おのみち」として再出発しました。
あわせて、商品の包装も一新しようと試行錯誤する中、ある利用者さんからの「作業所のゆるキャラを作ったら？」という声をヒントに、利用者さんがデザインした存在感抜群の猫に、デザイナーの手が加わり、作業所のゆるキャラが誕生しました。
続いて、作業所まっりの来場者に愛称を公募し、数ある魅力的な候補の中から、



▲にやをりのネーム入り。尾道土産にいかが？

広島を中心で福祉を叫ぶ!!
「広島での介護は私たちに任せんさい」

尾道福祉専門学校 民安 和宏

「11(い)月11(い)日は介護の日」にちなみ、11月10日に県庁前で開催された「介護の日フェスタin広島」に参加しました。会場では、介護・福祉関連企業・団体による最新の製品や情報を紹介するブースのほかに、介護漫画「ヘルプマン」原作者のサイン会や、介護福祉士の資格をもつアーティストのライブ&トークショーなどが開催されました。

会場が一番盛り上がったのが、介護福祉士養成校の学生による「福祉・介護所の魅力自慢大会」です。尾道福祉専門学校の学生が組体操を披露しながら「うちの校長先生は面白いぞ」と叫ぶと、会場は笑いに包まれました。その後、他校の学生たちとともに壇上にそろって「広島での介護は私たちに任せんさい!!」と締め、大きな拍手を浴びました。
参加した1年の棟杉順哉さんは「他の専門学校の人々と話をすることができとても刺激になりました。今後介護福祉士として仕事をしていく上で、こういった仲間がいることはとても心強いことだと感じました。介護における環境が良くなるように、頑張っていきたいと思いました」と話してくれました。



▲組体操で介護の日をアピール ※2013年11月18日号福祉新聞1面より転載